

## 2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 21 日

所属	サービス創造学部	職名	教授	氏名	今井重男
研究課題	ブライダル産業およびブライダルサービス研究				
研究キーワード	現代ブライダルサービス、 新ブライダルサービス	当年度計画に対する 達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	5. ジェンダー平等を実現しよう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	12. つくる責任 つかう責任	16. 平和と公正をすべての人に	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>(1)「エシカルブライダル研究」：我が国のこれまでのブライダル諸活動では、慶事であるブライダルは贅を尽くす、すなわち豪華絢爛なることが良しとされエシカルの概念導入は受容されてこなかった。しかし、例えばウェディングドレスのリユースやリフォーム、地産地消を意識した披露宴料理など、これまで当たり前とされていた慣習を見直す動きが散見されるようになった。</p> <p>(2)「LGBT ブライダル研究」：憲法第 24 条で“男女の婚姻”を規定する我が国ではあるが、姻儀礼実施の場である各種結婚式場で同性婚に対応する事例が増加している。これらは時代の趨勢、社会ニーズへの対応と考えられる。他方、宗教施設（例えば、キリスト教会、神社など）における結婚式では、同性婚への対応が全く進んでいないことが分かった。</p> <p>(3)上述 2 項目に関連する研究として、本年度は“エシカル消費”や“フェアトレード”の教育研究機関たる大学における取り扱い状況を 2 編論攷した。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>実績ありません。</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>(1)『叢書 SDGs と大学 2 CSR 研究と普及啓発』、橋本隆子・今井重男・齊藤紀子編集、千葉商科大学学長プロジェクト、2025 年 3 月</p> <p>(2)「フェアトレード大学認定に続く目標 -CUC エシカル学生クラブの活動から-」、今井重男・滝澤淳浩、『叢書 SDGs と大学 2 CSR 研究と普及啓発』、p153～171、千葉商科大学学長プロジェクト、2025 年 3 月</p> <p>(3)「エシカル消費とフェアトレード：大学教育として扱う意味」、滝澤淳浩・今井重男、『叢書 SDGs と大学 2 CSR 研究と普及啓発』、p119～152、千葉商科大学学長プロジェクト、2025 年 3 月</p> <p>【学会発表等】</p> <p>実績ありません。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>学会年会費、関連書籍と文房具、調査研究出張等に使用しました。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特にありません。</p> <p style="text-align: right;">(本文は 2 ページ以内にまとめること)</p>					